

畜産経営

講師名	小野寺 晃	実務経験等	食肉の処理解体加工会社での管理部門の勤務経験を活かし、経営計画の策定、経営の記録と経営分析、資金管理等に関する講義を行う。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・共通	必修	1	後期	30	2
使用教科書・副教材	自作プリント					
授業の目的	畜産経営の運営管理に必要な基礎知識を習得する。					
授業の到達目標	畜産経営を行う上で必要な基礎知識と、畜産に関する諸制度を理解する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
9月6日	1・本県の畜産	本県畜産経営の現状・課題について理解する。	2	講義	
9月15日	2・現地事例研究	畜産経営におけるコントラクターの活用について理解する	4	事例 研究	アンケート
10月4日	3・畜産経営の特徴	畜産経営者の責任・役割及び畜産経営におけるコントラクター等の活用について理解する	2	講義	
10月6日	4・目標設定とPDCA サイクル	農業経営の目標設定と経営計画について理解する	2	講義	
10月11日	5・畜産の収益性	畜産の収益性を理解する	2	講義	
10月18日	6・畜産経営の費用	畜種ごとの経営費と生産費の構成について理解する	2	講義	
11月11日	7・畜産経営の収益	売上高の要因と改善策について理解する	2	講義	
11月15日	8・現地事例研究	公共牧場、コントラクター、大規模法人における経営を理解する	4	事例 研究	レポート
12月14日	9・畜産経営の収益(酪 農)	生乳価格と生産費の実態、酪農経営支援対策の概要を理解する	2	講義	
1月11日	10・畜産経営の収益 (肉畜)	肉用牛の販売価格と生産費の実態、肉用牛の経営支援対策を理解する	2	講義	
2月1日	11・経営分析の手法	経営把握のため、青色申告決算書等を活用した経営分析の手法を理解する	2	講義	
2月8日	12・経営分析の手法Ⅱ	各畜種の既存資料を活用した生産性と収益性の分析を理解する	2	講義	
2月15日	13・まとめ	講義のまとめ	2	講義 演習	
		合計	30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

評価割合:筆記試験 70%、平常点 30%(小テスト、学習態度、出席状況、提出物)

履修に当たっての留意点等

授業は、配布資料又は板書により行うが、項目が入れ替わることがあるので注意すること。ノートは整理しておくこと。